

12月議会市政報告

12月6日、第294回市議会定例会が開催されました。

浜田純市長は、各議案の提案理由に先立ち、第57回国民体育大会・第2回全国障害者スポーツ大会について、「子どもからお年寄りまで多くの市民の参加をいただいて開催することができ、多くの変革とスポーツの喜びや感動を残して大成功のうちに無事終了しました。国体で体験した素晴らしい地域の連帯や喜び、そしていつまでも心に残る感動を忘れることなく、民泊で得た市民エネルギーを今後の市政発展にいかしていきたい」と述べた後、主要な課題について報告しました。（内容は、あらましです）

財政状況

基金の減少など
厳しさを増す

来年度の財政状況について、歳入は、景気の低迷や評価替えなどの事情により市税収入は、本年度より減収となる見込みです。地方交付税も、臨時財政対策債への振り替えなど、マイナス傾向は今後も続くものと思われます。さらに、市債の借入れも、起債制

限比率の連年の上昇により、極力抑制しなければならぬ状況となっています。

一方、歳出は、公債費などの義務的経費が増大し、その財源不足を補てんする財政調整基金および減債基金の減少など、さらに厳しさを増しています。

こうしたことから、今後も行財政改革の一層の推進を図り、経常的経費の節減に努め、行財政運営の簡素化・効率化を積極的に進めます。

人権問題

差別のない

明るい社会をめざして

障害者・女性問題など、さまざまな人権問題について参加体験型学習を盛り込んだ「スマイリーハート人権講座」の開講式を10月4日に行いました。開講式後に行われた第1講座の「ビギン・ザ・人権」には、約30人の参加がありました。講座は2月までに5回開催しますが、現在、市内企業も含め、約40人の申し込みがあります。

道の駅南国・風良里

レストラン部門高売り上げ

4月から10月までの7カ月間でJ A直販所の売上げは約8千900万円、物販部門では約6千700万円、レストラン部門では約3千200万円と順調に推移しています。

特に、レストラン部門は前年の同じ時期との比較で約44パーセントの売上げ増となっており、平成15年度黒字転換を目指しています。

交通安全対策

園児などの

交通安全学習を実施

9月26日・27日の2日間に7つの保育所、2つの幼稚園、2つの小学校の合計492名を招待して、「交通安全広場」を開催しました。

今回は、従来と異なり、市立体育館の中に高さ1メートル前後の模型の建物を並べ模擬市街地を作りました。子どもたちに興味をもたせる工夫をし、楽しい中で交通安全が学べたものと思っています。

住民基本台帳

ネットワークシステム

全通知完了をめざして

予定どおり8月1日から実施していますが、住民票コードの通知状況は、10月1日現在、通知総数2万372通、うち通知完了1万7千369通、受取拒否457通、不在未配達2千305通、転居先不明236通、郵便局保留5通となっています。

なお、不在未配達については、10月号広報で受け取りについて掲載しています。

人権く共生の時代^⑮ 人権教育シリーズ

子どもの人権

見えなかった
関係が見えてくる

「子どもの権利条約」を学習した小学生の作品が目にとまりました。この条約は1994年に発効されたものです。条約では、子どもの生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利について定めており、子どもにとって一番いいことは何かを考えなければいけないといっています。

条約について学習した小学生は感想の中で、*第12条「意見を表明する権利」で、私たちが子どもは、自由な発想を持つ権利が持っていることはいいことだと思えます。当たり前みたいだけれど、大切なことだから、条約になっっているんだと思います。私たちが子どものことをこんなにも考えてくれている「子どもの権利条約」は、とてもいいことだということを今勉強してとても分かりました。この条約がもっと広まって、守り続けられていくといいです」とつぶっています。

子どもたちは、学校教育の中で、互いの人権を尊重しあっていく学習をしています。

第2回全国障害者

スポーツ大会

大会無事成功に感謝

11月9日・10日・11日の3日間、南国市・高知市・土佐市・春野町・伊野町の5市町を会場に開催されました。

本市では、皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして、南国市立スポーツセンターで身体障害者のバレーボール競技と知的障害者のフットベースボール競技が行われ、大変盛り上がりつつ大会となりました。

大会開催にあたり、大会関係者や多くのボランティア、周辺住民をはじめとした市民のご協力をいただき、大会が無事成功のうちに終了できたことを感謝申し上げます。

介護予防・生活支援事業

要介護防止のために

一人暮らし高齢者等に輕易な日常生活上の援助を行うことにより要介護状態への進行を防止し、自立した在宅生活を継続させる「軽度生活援助事業」を1月から実施するための準備を進めています。

第7回土佐日記

つらゆき時代まつり

多くの見物人を魅了

南国市商工会の主催で、11月8日から17日まで開催されました。メイン行事である貫之行列は17日に行われ、華やかな平安絵巻は多くの見物人を魅了しました。



基幹型在宅介護支援センター開設予定

在宅介護支援センター

連絡体制の基幹となる

高齢者の実態把握に基づいた適切な介護予防・生活支援サービスの総合調整と介護保険における居宅サービス事業や居宅介護支援事業所への指導・援助などの機能を有する「基幹型在宅介護支援センター」を平成15年4月に保健福祉センター内に開設するため準備を進めています。

学校教育研究大会・

発表会の開催

これからの教育の創造と推進のために

今年は特に、本市において数多くの県大会が開催されました。



11月26日に大篠小学校・鷹ヶ池中学校を会場に、高知県社会科教育研究大会が開催されたのははじめ、11月28日には、たちばな幼稚園を会場に高知県公立幼稚園研究会、また11月29日には、文部科学省指定の研究開発学校として北陵中学校希望が丘分校の研究発表会と後免野田小学校・香南中学校を会場に高知県学校図書館教育研究大会が開催され、それぞれ市内外から多数の参加者があり、本市のこれらの教育の創造と推進を図る有意義な機会となりました。

11月26日 高知県社会科教育研究会 (大篠小学校)

一般廃棄物最終処分場

供用開始以来順調に稼働

4月の供用開始以来、順調に稼働しています。

10月中旬に放流水、悪臭などに関する周辺環境調査を実施しましたが、問題となるような結果は出ていません。



この詳細は、周辺住民で組織している「最終処分場環境監視審議委員会」に報告します。

市内一斉清掃

ごみのないきれいな環境で

毎年6月に行っていました。本年度は国体秋季大会前の10月20日に約6千人の市民の参加を得て、ほぼ市内全域で実施しました。

ごみは、香南清掃組合へ投入した可燃ごみ約10トン、八京処分場への不燃ごみは約12トンと大変多くのごみが搬出されました。

ます。私たち大人が子どもたちの豊かな感性に教えられることが多くあり、自分の内面を見つめることができます。私自身子育ての中で、子どもの意見を聞かず一方的に自分の考えを押しつけたりすることなど反省させられています。「子どもは親の所有物ではない。人格を持った一人の人間である」とよく言われます。私たちは、今まで自分たちの価値判断を基準において子どもたちとの関係を模索してきたように思います。

子どもは年齢相応に自分は何をすればよいのかを考えたり、実行していく「ちから」を持っており、その年齢なりの自己決定力を備えています。子どもたちを「権利を保障された人間」という視点から見ると、大人たちに見えなかった関係が見えてくるのではないでしょう。

「子どもの権利条約」は、子どもの人権をふまえて、家庭や地域に人権の文化を根づかせるためにどうすべきかを考えるきっかけを作ってくれているように思います。

*子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、十分考慮されなければなりません。